

は種時から使えて、
しっかり守る。



アビマイヤー[®] CR

箱粒剤

は種時から移植時まで、
いつでもまける幅広い処理適期を実現。
コントロールリリースで、
いつでも使えて、しっかり守る。

育苗箱専用殺虫剤



は種時



緑化期



移植時

は種時から、使える。

アドマイヤー® CR 箱粒剤

農林水産省登録:第22132号

- 成分：イミダクロプリド……………1.95%
- 性状：類白色細粒
- 毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称）

アドマイヤーCR箱粒剤の特長

- ◎「CR(コントロール・リリース)」により、は種時から移植当日まで使用可能です。
- ◎使用時期が幅広いため、労力分散が可能です。
- ◎イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類に対し高い防除効果を示します。
- ◎人畜、水産動植物に対しても高い安全性を示します。
- ◎有用昆虫、天敵などに影響の少ない薬剤です。

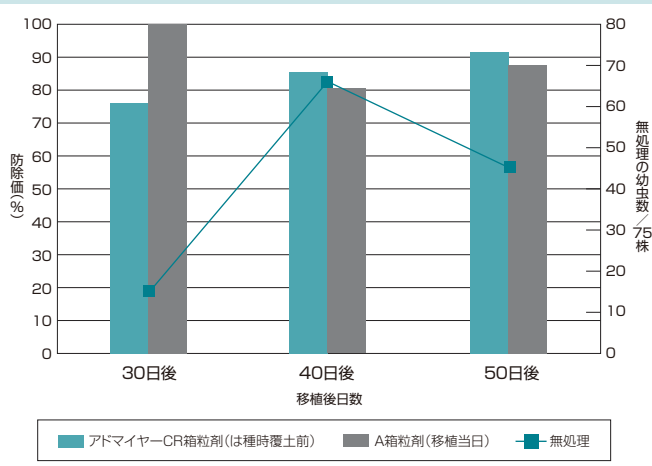
適用作物、害虫および使用方法（2018年4月現在）

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種時(覆土前) ～移植当日	本剤……………1回 イミダクロプリド……3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内)	育苗箱の上から 均一に散布する
	イネアザミウマ		移植2日前～移植当日		
	イネクロカメムシ		移植当日		

※収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

効果試験（日植防新農業実用化試験結果より）

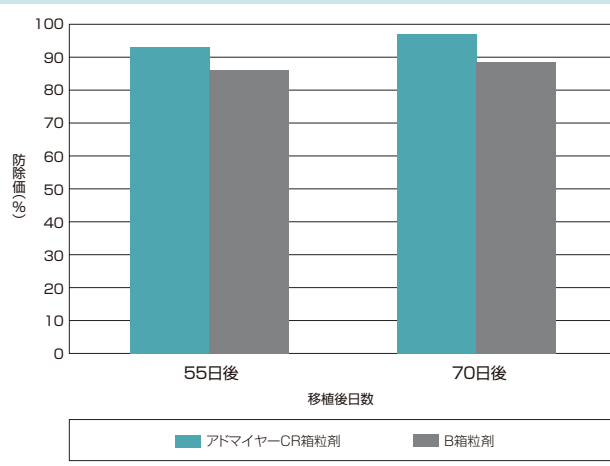
■ヒメトビウンカに対する効果



岐阜県植物防疫協会(平成21年)

作物：水稻(ハツシモ) 発生状況：中発生
 処理月日：アドマイヤーCR/5月8日(は種時覆土前) 調査方法：所定日に25株/区、3区について払落し調査した。
 A箱粒剤/6月6日(移植当日)
 移植月日：6月6日

■イネクロカメムシに対する効果



島根県農業技術センター(平成22年)

作物：水稻(コシヒカリ) 調査方法：所定日に各区あたり100株、3区について寄生虫数を調査した。
 処理月日：5月20日
 移植月日：5月20日
 発生状況：中発生

使用上の注意事項

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、は種時の使用を避けて下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00
土・日・祝日を除く

(F-1131 18.04.JWT)